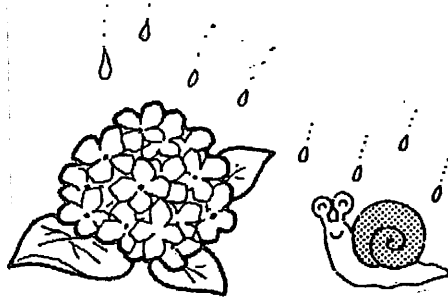


ほげんだより 6月

太陽の子保育園平成19年6月

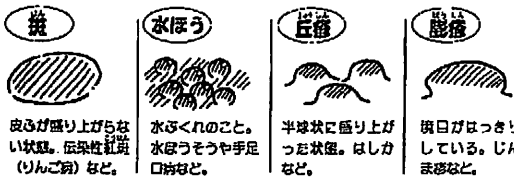
色とりどりの紫陽花の花びらに、雨の雫が美しく光る季節になりました。反面、うつとしい梅雨期の季節・・・この時期、気温の変化に意外と体力が消耗し、発熱や下痢等の症状を起しやすようです。早寝の睡眠を十分にとり、消化の良いもの・バランスの良いものを食べ元気に乗り切りましょう。



発疹がでた時は・・・

子どもの身体に発疹が出た時の原因として考えられるのは、感染症や汗をかいたり空気が乾燥したりなどで起こる皮膚のトラブル、薬や虫、食べ物等があります。これからの季節は肌を露出する機会が多くなるため、汗をかいたり虫に刺されたりすることが多くなります。皮膚の異常に気がついたときには、どこに、どのような色や形で異常があるか確かめることが大切です。また、発疹の出る感染症の場合は、発熱することが多いので熱の有無や全身症状にも注意しましょう。

どのような発疹ですか？



発疹がでた時には

次のようなことに注意して、受診しましょう。

- ★発疹の色や形、かゆみがあるかないか。
- ★体のどの部分にできているか。
- ★熱はあるか。また発疹のでる前か後だったか。
- ★発疹は増えてきているか、おさまってきているか。
- ★そのほかにはどのような症状があるか。



発疹の出る代表的な病気

熱が出る

発熱と前後して発疹が出る場合は、感染症が疑われます。熱と発疹が出た時期に注目しましょう。

考えられる病気

水痘・麻疹・風疹・手足口病・伝染性紅斑(りんご病)・溶連菌感染症・突発性発疹

熱が出ない

皮膚は敏感なので、汗や空気の乾燥、虫、植物、食べ物、薬、ウイルス、細菌などが原因で発疹ができることがあります。

考えられる病気

じんま疹・とびひ・水いぼ・薬疹・アトピー性皮膚炎など

夏場に注意したい と・び・ひ

擦り傷や虫刺され、湿疹をかきこわした傷口から感染して起こるもので、かゆみが強いため、かいたりして水泡が破れて体のあちこちに広がります。感染力が強いため早めに診察を受けましょう。

6月の行事予定

6月12日(火) → 虫歯予防集会
 6月22日(金) 9:00 → 歯科検診
 6月26日(火) → 0歳児健診

6月は歯の衛生週間です

◆ 唾液は虫歯の予防にもなっています。

唾液は糖分を洗い流したり、歯を溶かす「酸」をうすめたりします。眠っている間は、唾液の出方が少なくなるので、虫歯菌の活躍には絶好のチャンスです。寝る前の歯みがきはとても大切です。

◆ イオン飲料と虫歯の関係

イオン飲料には糖分が含まれ、味がおいしいので習慣化する傾向があります。イオン飲料のpHは3.6～4.6と低く、pH 5.4以下ではエナメル質の脱灰が起こり虫歯になりやすいことなどにより、絶えず口腔内に残存すると虫歯の原因になります。

- § 水、お茶がわりに飲ませない。
- § 下痢や嘔吐でイオン飲料を飲ませたときは症状が軽快したら中止する。
- § 寝る前や寝ながらイオン飲料を与えない。



～小児科と小児歯科の保健検討委員会より～

◆ おしゃぶり...1歳過ぎたらやめましょう。

年齢とかみあわせの調査では、おしゃぶりを使用しない子どもに比べ、前歯の上と下が開いてしまう率が高くなっています。また、泣き止ませる手段として習慣的に使っている状況があるため、「子どもがなぜ泣いているか親が考えなくなる」「子どもの発語の機会が減る」など、コミュニケーションを阻害しかねないと指摘されています。

- § 遅くとも2歳半までに使用を中止する。
- § おしゃぶりを使用している間も、声をかけたり一緒に遊んだりして子どもとふれあう。

『おしゃぶりは鼻呼吸やあごの発達を促進する効果があるなどといわれるが、医学的な根拠は確かめられていません。』

～東京医科歯科大教授 高木裕三～

